

# KCクリート

## KCクリートとは...

島根県西部に広がる石見地方は、古くから石州瓦の名で知られる屋根瓦の産地で、全国二位のシェアを誇っています。

この屋根瓦は製造時に約5%の規格外品が発生しています。一部は細かく粉砕した後再び瓦の原料として再利用されているものの、ほとんどが廃棄物として埋め立てるなどの処分がされています。しかし、こうした処分方法には限界があり、環境に対する意識の向上が社会的な流れとなって押し寄せるなか、地域的なリサイクルシステムの確立が求められていました。

KCクリートとはこのような廃瓦をコンクリートに活用したかわらコンクリートです。

コンクリートは骨材と呼ばれる材料が重量の約75%を占めおり、KCクリートはこの骨材の全てに廃瓦を利用しています。

さらに、コンクリートとしての品質を向上させるために火力発電所から排出される石炭灰を添加しており、より地球に優しく強いコンクリートを実現しています。

また、硬化したコンクリートの表面を洗い出しや磨きをかけることで廃かわらが露出し、石州瓦独特の赤みを帯びた色合いを出すことができ意匠的な利用も可能です。



廃かわら



KCクリート（磨き出し処理）

## 「しまねグリーン製品」認定

KCクリートにより作られる3製品が平成18年度「しまねグリーン製品」の認定を受けました。

- KC板
- KC遮音板
- KCプレキャスト地覆



KC板



KC遮音板



KCプレキャスト地覆

## KCクリートの性能確認

曲げ試験による曲げ特性やコンクリート強度の確認を行い、各種試験から長期耐久性が通常のコンクリートと同等以上であることを検証しました。



RC梁 曲げ載荷実験



拡散試験（塩分浸透性）



凍結融解試験

## 施工実績

唐鐘橋の地覆に採用されたほか、新恵比須橋と長原大橋の親柱、島根県志津見ダム八神地区護岸では、洗い出し処理によってかわらの風合いを生かした利用も行われています。

### 島根県 唐鐘橋 KCプレキャスト地覆



### 島根県 新恵比須橋 KC親柱



### 国土交通省 志津見ダム八神地区護岸整備工事 KC板

